

としょかんだより



市立竹原書院図書館
竹原市中央4丁目7番11号
TEL 22-0778
FAX 22-1072

http://takeharashoin.jp/ 携帯用: http://takeharashoin.jp/mobile/

文字・活字文化振興法が問いかけるもの：

秋の読書週間(十月二十七日〜十一月九日)の初日を「文字・活字文化の日」とした振興法が制定されて二年が過ぎましたが、この法律はまだまだ多くの人々の知るところとはなれていません。この法律の出来た背景には、日本人の活字離れ、もつと言えば日常の表現やコミュニケーションの手段が、携帯電話をはじめとして、テレビやゲーム、パソコン、コミックなどの映像・画像に依存する傾向になっているからでしょう。目に飛び込んでくる映像・画像は状況をよりリアルにつたえ、即座に納得させる力がありますが、その背景や問題の本質を考える思考力、「自分で深く考える力を阻害する」と柳田邦男氏が言っています。「赤ちゃんの時代から映像・メディアの影響をうけて育つと、児童や若者の心の発達に重大な影響を及ぼす」と警告しています。自分の気持ちを言葉にして相手に伝える力、相手を思いやる豊かな感性や気持ちを汲み取る力の発達の遅れが、さまざまな青少年の問題に繋がっているのは二〇〇五年版犯罪白書からも読み取れます。

乳幼児期からの習慣として絵本を読んでもらうことは、文字・活字を通して思考し、自分の世界を広げる習慣を身につけ、より豊かな感性を育てます。

子どもの読書の習慣化が大切です。そのために文部科学省は今年「学校図書館充実のための新五ヶ年計画」を打ち出し、毎年二百億円の財政措置を始めています。地方交付税として各自治体に入ってくる財源で、竹原市の小・中学校の図書館も新しい本が増えます。子どもたちの心地よい居場所になることを願っています。書院図書館も選書や改造計画など、様々な協力をしていきます。

自動車文庫わかたけ2号 巡回日程

- ▼第1コース 11/1 12/6 第1木曜日
 - 忠海公民館 10:30~11:30
 - 大乗小学校 12:50~13:45
 - 長浜会館 14:00~14:30
 - 忠海地方水源地北 14:45~15:15
 - 大乗保育園 15:30~16:15
- ▼第2コース 11/2 12/7 第1金曜日
 - 竹原保育所 10:30~10:50
 - 喜多崎集会所 11:10~11:40
 - 高崎城会館 13:30~14:00
 - 忠海西小学校 14:30~15:20
 - 雇用促進大乗宿舎 15:45~16:20
- ▼第3コース 11/8 12/13 第2木曜日
 - 吉名公民館 10:30~11:20
 - 竹原西小学校 12:50~13:50
 - 大井公民館 14:20~14:50
 - 宿根生活改善センター 15:20~15:50
- ▼第4コース 11/9 12/14 第2金曜日
 - 小梨会館 10:30~11:00
 - 竹原小学校 13:00~14:00
 - 安田病院 14:20~14:50
 - 中通小学校 15:10~16:15

- ▼第5コース 11/15 12/20 第3木曜日
 - 三原農協荘野支店 11:00~11:30
 - 荘野小学校 13:00~13:50
 - 田万里公民館 14:15~15:00
 - 老人保健施設ゆさか 15:20~16:15
- ▼第6コース 11/16 12/21 第3金曜日
 - 竹原西保育所 10:30~11:00
 - 忠海団地竹原生協 13:30~14:20
 - 忠海東部保育園 14:40~15:20
 - 忠海東小学校 15:30~16:20
- ▼第7コース 11/22 12/27 第4木曜日
 - 仁賀小学校 10:30~11:00
 - 仁賀梅王館 11:10~11:40
 - 東野小学校 13:00~13:50
 - 東野公民館 14:00~14:30
 - 東野保育所 14:40~15:00
 - 賀茂川保育所 15:20~16:15
- ▼第8コース 11/21(水) 12/28 第4金曜日
 - 吉名保育所 10:30~11:00
 - 吉名小学校 12:50~13:50
 - 吉名沖辺集会所 14:00~14:30
 - 竹原病院 15:00~15:30

図書館掲示板

11月の行事予定

えほんのかい

11月10日(土) 10:30~

図書館視聴覚室

読書会

11月21日(水) 13:30~

福祉会館2階会議室

課題本「鏡の法則」(野口嘉則)

保健センター 絵本の出前講座

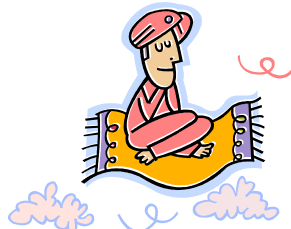
11月 7日(水) 4ヶ月検診

11月14日(水) 3歳児検診

本との出会いのきっかけに

★2階フロア ★☆☆

『むかしむかしのおはなし 外国編』



★3階フロア ★☆☆

『乗り物と町』



★3階エレベーター前

今月の作家「白洲 正子」

★3階図書館入り口 ★☆☆

特別企画展「田島 征三」

秋の文庫まつり



10月27日秋の文庫まつりが開催されました。たくさんの催物で、楽しい時間を過ごしました。

ベスト5

貸出

魚で自慢料理

買物71番勝負(平松 洋子)

アウトドアクッキング大事典(大田 潤)

うまいかないあの人とうまいく方法(岡田 尊司)

北の秘密(西村 京太郎)

ぼくカメックスになりたいんだ(わだ じゅんこ)

とべ!ちいさいプロペラキ(小風 さち)

ぐりとぐら(中川 李枝子)

サワムラーののびるあし(さかた もとはる)

ちいさなうさこちゃん(ブルーナ)

予約

楽園(宮部 みゆき)

ホームレス中学生(田村 裕)

クロード・ノート(雫井 脩介)

警官の血(佐々木 譲)

桜色のハーフコート(赤川 次郎)

バムとケロのおかいもの(島田 ゆか)

おーいかばくん(中川 いつこ)

かいけつゾロリたべろぜ!大ぐいせんしゅけん(原ゆたか)

No.6 #6(あさの あつこ)

ぞくぞく村のとうめいにんげんサムガリー(末吉 暁子)



新刊コーナー



こどものほん

ドガと小さなバレリーナ
わすれんぼうのねこモグ
よにもふしぎな本をたべるおとこのこのはなし
サンゴの森
レモン
10にんのきこり
本って、どうやって探したらいいの？
世界の国旗図鑑
野生動物の首をしめるゴミ
ちかちゃんのきゅうしょく
どんぐりころころ
オチケン！
3年2組は牛を飼います
ゾンビのレストラン
シンデレラ魔女と白雪魔女
キューピッドの涙盗難事件
スカルダガリー 1
ふたりはなかよし

R・アンホルト
J・カー
O・ジェファーズ
なかむら こうじ
小池 昌代
A. ラマチャンドラン
赤木 かん子
苺安 望
宮崎 学
光本 多佳子
大久保 茂徳
大倉 崇裕
木村 セツ子
かとう くみこ
藤 真知子
真瀬 もと
D・ランディ
I・ロジャーズ

ベファーナ
あすなる書房
ヴァレヅブックス
そうえん社
あかね書房
講談社
ポプラ社
偕成社
理論社
かもがわ出版
ひさかたチャイルド
理論社
文研出版
童心社
ポプラ社
理論社
小学館
そうえん社



おとなのほん



マリー・キュリー
奈良名所むかし案内
スタバではグランデを買え！
子どものコミュニケーション力の基本は共感です
ペンギンの足はなぜ凍らないの？
よくわかる緑内障・白内障と目の病気
あなたの暮らしが世界を変える
奇想遺産
あんで、つくる、ちいさなもの
りすが作る、手袋でぬいぐるみ
作っておくと、便利なおかず
ウー・ウエンのねぎが、おいしい。
ハッピー・マクロビオティック・スイーツ
図説日本の近代化遺産
どうなる「ゆうちょ銀行」「かんぽ生保」
つるかご
三島由紀夫追想のうた
枝物フラワーアレンジ講座
十二の嘘と十二の真実
漁夫マルコの見た夢
心中抄
走ることにして語るときに僕の語ること
わたしの声を聞いて

N・パサコフ
本渡 章
吉本 佳生
汐見 稔幸
M・オヘア
戸張 幾生
阿部 治
鈴木 博之
きゆな はれる
金森 美也子
ベターホーム協会
U・ウエン
P・G・デ・パレデス
北河 大次郎
滝川 好夫
自然素材工作編集部
村松 英子
永塚 慎一
あさの あつこ
塩野 七生
藤沢 周
村上 春樹
S・タマーロ

大月書店
創元社
ダイヤモンド社
旬報社
P H P 研究所
主婦と生活社
山と溪谷社
新潮社
主婦の友社
文化出版局
ベターホーム出版局
主婦と生活社
小学館
河出書房新社
日本評論社
誠文堂新光社
阪急コミュニケーションズ
誠文堂新光社
徳間書店
ポプラ社
河出書房新社
文芸春秋
草思社

他にも新刊がたくさん入っています。どうぞご利用ください。

「頼山陽 上・下」 見延 典子著 徳間書店

中国新聞に2004（平成16）年10月5日から2007（平成19）年4月25日までの2年半にわたり連載されたものに大幅な加筆修正を加え出版されたもの。

作者の見延 典子は、札幌市生まれで広島在住。頼山陽との出会いは、今から10年以上前、広島市中区袋町の山陽の父春水の屋敷跡に建てられている頼山陽史跡資料館での「古文書研究会」への参加。

それを契機に平成12年頼山陽の母梅颯の生涯を描いた「すっぽらぼんのぼん」、平成16年にエッセイ「頼山陽にピアス」と続き、今度「頼山陽」に集大成された。

「頼山陽にピアス」の中で、頼山陽を題材に書くのは山陽という類まれなる個性に春水と梅颯の親としての苦悩への同情であると述べ、頼山陽を「江戸時代に生きた現代人」と書いている。新聞連載中から「頼山陽」の小説をNHKの大河ドラマにという動きもあった。

：この10月の憧憬の路にも竹原に来られ、1役を担ってくださった。

職員からのおすすめの本

『北別府学 それでも逃げない』北別府学・友野庚治/著 グラフ社

プロ野球広島東洋カープの元選手で、20世紀最後の200勝投手、北別府学さんが、50歳を迎えた節目として、プロ野球の世界に入ってから現在まで絶対逃げない人生のあり方など、半生を描いた本です。これまでの野球人としての生き様や、考え方、チームメイトとの思い出、家族や故郷のことについても紹介されています。



図書館からのお願い

行方不明の本を探しています

ご自宅に図書館の本が残っていないでしょうか？

図書館の本にはラベルとバーコードが貼られています。

ご自宅で返し忘れの本を発見されました、

図書館のポストまで返却をおねがいいたします。

913.6 入

913.6

S



- ★ 本が破れてしまった時、また破損を発見した時は、修理せずにそのまま図書館へお持ちください。修理は図書館で行います。
- ★ 図書館の黄色い袋が返ってきていません。ご自宅で眠っていたら返却をお願いします。
- ★ 学校や他の図書館の本が多数返却されています。ご注意ください。